

看護職員の負担及び処遇の改善に資する取り組み

- 看護職員の勤務状況の把握
- 業務分担推進のための委員会の開催
- 目標設定と評価
- 取組事項の公開

院内掲示及びホームページ

2025 年 職員の負担軽減対策目標と具体策 評価

1.看護補助者の教育

精神科に特化した研修を積み重ね、看護補助者の質の向上を図る

- 1) マニュアル熟知のための研修
- 2) 専門性を意識した院内・院外研修の参加
- 3) 業務の見直しと業務改善

2.職員の育児 子育ての負担軽減

子育て中の職員の現状を知り、継続して働ける環境を作る

3.精神科のやりがい・専門性を各職種が発揮できる業務分担

それぞれの職種が具体的やりがいを持ち、専門性を発揮する事で業務の負担の軽減を図る

- 1) m-ECT クロザピンの周知徹底と、クライシスプランを他職種と連携して活用する。
- 2) クリニカルパスを活用し業務の明確化・軽減を図る。

4.夜勤看護職員の負担軽減について

看護職員の勤務希望と健康を重視した勤務の調整を図る。

5.看護師と総務・医事との業務分担の推進

患者の地域意向を考え、外来看護を充実していく必要がある。その為、現在の外来看護師の業務を病院で見直し、整理していく必要がある。